

報告書

WTT ユースコンテNDER香港 2024



主催 (公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部

スナップ写真





令和6年度 全国高体連卓球専門部海外遠征
[WTT ユースコンテNDER香港 2024]

1. 大会名 WTT ユースコンテNDER香港 2024
2. 大会期日 女子：令和6年7月8日（月）～10日（水）
※集合 7月7日 6：10 関西国際空港出発ロビー集合
（前泊者7月6日 17：00 関西エアポートワシントンホテル集合）
男子：令和6年7月12日（金）～14日（日）
※集合 7月11日 6：10 関西国際空港出発ロビー集合
（前泊者7月10日 17：00 関西エアポートワシントンホテル集合）
3. 会場 「Queen Elizabeth Stadium」 18 Oi Kwan Road, Wan Chai Hong Kong
4. 宿泊先 「サウスパシフィックホテル香港」 23 Morrison Hill Road、湾仔香
5. 日程 (女子)

1	7/6(土)	17:00	前泊者集合（関西エアポートワシントンホテル）
2	7/7(日)	6:10 9:10 12:15	関西国際空港国際線出発ロビー 集合 関西国際空港発 CX597 便 ホンコン国際空港着 練習
3 ～ 5	7/8(月) ～ 7/10(水) 11(木)	23:00 1:50	8～9 U17 9～10 U19 ホンコン国際空港チェックイン ホンコン国際空港発 CX566 便
6	7/11(木)	6:35	関西国際空港着、解団式、解散

(男子)

1	7/10(水)	17:00	前泊者集合（関西エアポートワシントンホテル）
2	7/11(木)	6:10 9:10 12:15	関西国際空港 集合 関西国際空港発 CX597 便 ホンコン国際空港着 練習
3 ～ 5	7/12(金) ～ ～14(日) 15(月)	23:00 01:50	12～13 U17 13～14 U19 ホンコン国際空港チェックイン ホンコン国際空港発 CX566 便
6	7/15(月)	6:35	関西国際空港着、解団式、解散

6. 役員・選手名簿

役 職	氏 名	所 属	備 考
団 長	小林 明史	(公財)全国高体連卓球専門部	
男子監督	藤井 健	(公財)全国高体連卓球専門部	
女子監督	神谷 卓磨	愛み大瑞穂高等学校	
男子選手	鈴木 柊平	遊学館高等学校	
	谷本 拓海	育英高等学校	
	梅木 大智	鶴岡東高等学校	
	杉浦 涼雅	愛工大名電高等学校	
女子選手	吉本 はな	香ヶ丘リベルテ高等学校	
	遊佐 美月	愛み大瑞穂高等学校	
	島村 果怜	横浜隼人高等学校	
	伊藤 詩菜	四天王寺高等学校	

試合記録

◎女子シングルス U-17

・予選リーグ

グループ 14

吉本はな（香ヶ丘リベルテ）	3 - 0	SZE-TO Wing Yi（中国香港）
	3 - 0	CHEONG Chi Hun（マカオ）
	3 - 0	Pratha PAWAR（インド）

3 勝 0 敗 1 位通過

グループ 15

島村果怜（横浜隼人）	3 - 0	謝昕融（チャイニーズタイペイ）
	3 - 0	HUANG Cheong Leng（マカオ）
	0 - 3	Phatsaraphon WONGLAKHON（タイ）

2 勝 1 敗 2 位通過

・決勝トーナメント

2 回戦

吉本はな（香ヶ丘リベルテ）	3 - 2	陳忞昕（チャイニーズタイペイ）
島村果怜（横浜隼人）	0 - 3	Sally MOYLAND（アメリカ）

3 回戦

吉本はな（香ヶ丘リベルテ）	0 - 3	Sally MOYLAND（アメリカ）
---------------	-------	---------------------

◎女子シングルス U-19

・予選リーグ

グループ 3

遊佐美月（愛み大瑞穂）	1 - 3	葉伊恬（チャイニーズタイペイ）
	3 - 1	KIM Yeowon（韓国）

1 勝 1 敗 2 位通過

グループ 7

伊藤詩菜（四天王寺）	3 - 1	陳琦煊（チャイニーズタイペイ）
	3 - 0	王曉琳（中国香港）

2 勝 0 敗 1 位通過

グループ 15

吉本はな（香ヶ丘リベルテ）	3 - 1	LEE Seoan（韓国）
	3 - 0	Jocelyn LAM（ニュージーランド）

2 勝 0 敗 1 位通過

グループ 16

島村果怜（横浜隼人）	3 - 0	Phatsaraphon WONGLAKHON（タイ）
	3 - 0	羅心怡（中国香港）

2 勝 0 敗 1 位通過

・決勝トーナメント

1 回戦

吉本はな（香ヶ丘リベルテ）	3 - 0	KIM Taemin（韓国）
遊佐美月（愛み大瑞穂）	3 - 1	Wirakarn TAYAPITAK（タイ）
島村果怜（横浜隼人）	1 - 3	陳琦煊（チャイニーズタイペイ）
伊藤詩菜（四天王寺）	3 - 0	龐雅文（中国香港）

2 回戦

遊佐美月（愛み大瑞穂）	0 - 3	面手 凜（日本 JNT・山陽学園）
吉本はな（香ヶ丘リベルテ）	1 - 3	劉如紘（チャイニーズタイペイ）
伊藤詩菜（四天王寺）	1 - 3	青木咲智（日本 JNT・四天王寺）

◎男子シングルス U-17

予選リーグ

グループ 17

谷本拓海（育英）	3 - 2	李沘濤（韓国）
	3 - 0	Joshua LU（ニュージーランド）
	3 - 1	洪哲硯（チャイニーズタイペイ）

3 勝 0 敗 1 位通過

杉浦涼雅（愛工大名電）	3 - 0	Thitaphat PREECHAYAN（タイ）
	3 - 0	Dwayniel REVELAR（フィリピン）
	3 - 0	PARK Minhyeok（韓国）

3 勝 0 敗 1 位通過

決勝トーナメント

2 回戦

谷本拓海（育英）	3 - 2	林晉霆（チャイニーズタイペイ）
杉浦涼雅（愛工大名電）	3 - 0	邱鈞霆（中国香港）

3 回戦

谷本拓海（育英）	3 - 0	Emanuel OTALVARO（コロンビア）
杉浦涼雅（愛工大名電）	3 - 0	崔志煜（韓国）

準々決勝

谷本拓海（育英）	0 - 3	CHIU Li-Chen（チャイニーズタイペイ）
杉浦涼雅（愛工大名電）	0 - 3	洪敬愷（チャイニーズタイペイ）

◎男子シングルス U-19

予選リーグ

グループ 10

鈴木柊平（遊学館）

3 - 2 崔志煜（韓国）

3 - 0 H0 Ka To（中国香港）

2 勝 0 敗 1 位通過

グループ 11

杉浦涼雅（愛工大名電）

3 - 2 陳奕騰（チャイニーズタイペイ）

3 - 1 邱鈞霆（中国香港）

2 勝 0 敗 1 位通過

グループ 15

梅木大智（鶴岡東）

3 - 1 KANG Hyunseong（韓国）

3 - 0 LAM Hiu Yeung（中国香港）

3 - 2 張秉丞（チャイニーズタイペイ）

3 勝 0 敗 1 位通過

グループ 16

谷本拓海（育英）

3 - 0 麦淞璋（中国香港）

3 - 0 Harry Kai Lam YIP（イングランド）

1 - 3 Rogelio CASTRO（メキシコ）

2 勝 1 敗 2 位通過

決勝トーナメント

1 回戦

鈴木修平（遊学館）

3 - 1 陳奕騰（チャイニーズタイペイ）

梅木大智（鶴岡東）

3 - 0 Sean CHEN（アメリカ）

杉浦涼雅（愛工大名電）

3 - 1 Yanamatee WERASUWAN（タイ）

谷本拓海（育英）

2 - 3 徐絃家（チャイニーズタイペイ）

2 回戦

鈴木修平（遊学館）

3 - 2 KWON Hyuk（韓国）

梅木大智（鶴岡東）

0 - 3 坂井雄飛（日本 JNT・愛工大名電）

杉浦涼雅（愛工大名電）

3 - 2 李承洙（韓国）

準々決勝

鈴木修平（遊学館）

0 - 3 郭冠宏（チャイニーズタイペイ）

杉浦涼雅（愛工大名電）

1 - 3 張佑安（チャイニーズタイペイ）

WTT ユースコンテnder香港 2024 に参加して

団長 小林 明史 ((公財) 全国高体連卓球専門部・柳井商工高等学校)

7月8日～14日までの日程で、香港で行われた WTT ユースコンテnder香港大会に男子監督の藤井先生、女子監督の神谷先生、男女各4名の選手の計11名で参加させていただきました。今年度の大会は前半が女子の試合、後半が男子の試合、中日にミックスダブルスを挟むという日程で行われました。私自身は WTT に初参加でしたが、今年のメンバーは、WTT の試合を経験している選手が半数いたため、試合会場でのアクシデントなどもなく、無事全日程を終了することができました。以下に、行程記録をまとめ、報告いたします。

女子日程

7/6 前半日程の女子選手は、空港近くの関西エアポートワシントンホテルに集合。結団式を兼ねた簡単なミーティングを行う。

7/7 5時30分にホテルを出発し関西空港に集合。4時間のフライトで、無事に香港国際空港に到着。WTT の役員の方に出迎えて頂きバスでホテルに到着。ホテルの昼食がなかったため、コンビニで昼食を買い込み、夕方から競技場で約2時間練習。

5/8 U-17 の予選リーグからスタート。出場した2名が翌日の決勝トーナメントに進出。

5/9 U-19 の予選リーグが行われ4名全員が出場。4名とも翌日の決勝トーナメントに進出。夕方18時より U-17 決勝トーナメントが行われた。残念ながら入賞とはならなかった。

5/10 U-19 の決勝トーナメントが行われた。3選手がベスト16に入った。女子の試合は、出場した全選手、全カテゴリーで決勝トーナメントに進出したが、入賞とはならなかった。全選手が特徴を出し健闘したが、JNT の日本選手も多く出場しており、早い段階での日本人対決もあり、そこは残念であった。夕方19時にホテルから WTT 手配のタクシーで香港国際空港に移動。チェックイン手続きを終え、夕食を取ってから深夜便で帰国。

5/11 6時過ぎに関西国際空港に到着。解団式を行い解散。

男子日程

7/10、11 は女子と同様の日程。

5/12 U-17 の予選リーグからスタート。出場した2名が翌日の決勝トーナメントに進出。

5/13 U-19 の予選リーグが行われ4名全員が出場。4名とも翌日の決勝トーナメントに進出。夕方18時より U-17 決勝トーナメントが行われた。2選手がベスト8に入った。

5/14 U-19 の決勝トーナメントが行われた。2選手がベスト8に入った。全選手とも力を出し切り、満足のいく結果であった。

その後は女子と同じ行程で帰国、解団式を行い解散した。

この遠征に際して、(公財) 日本卓球協会をはじめ、日本卓球株式会社・株式会社ミズノにもお世話をいただき深く感謝申し上げます。

男子監督 藤井 健 ((公財) 全国高体連卓球専門部・都城商業高等学校)

今回はこのような WTT の大会に男子監督として参加させていただきありがとうございました。たくさんさんの試合のベンチに入ることができてとても良い経験をさせていただきました。

本大会の規模としては U17 が58名(内世界ランク保持者42名)、U19 が52名(内世界ランク保持者34名)と小規模ながら、どこを見てもレベルの高い選手ばかりでした。中国は不参加でしたが、チャイニーズタイペイチームはほぼフルメンバーでの構成で、世界ランク3位の選手も出場していました。日本からも高体連以外にアジアユース大会から転戦した選手が多く参加していました。会場である「Queen Elizabeth Stadium」はホテルから歩いて5分の場所にあり、それぞれ選手は自分の試合時間に合わせてホテルと会場を往復し、出発時間や食事の時間を調整して試合に臨みました。

試合はU17の予選リーグが初日に行われ谷本と杉浦の2名が参加しました。緊張感がある中どちらとも接戦を制し予選3勝0敗で通過し決勝トーナメントに残ることができました。2日目の夕方からU17の決勝トーナメントが行われ、どちらも順調に勝ち上がりベスト8に進出、準々決勝は世界ランクを持っているチャイニーズタイペイ選手相手に健闘しましたが、惜しくも敗れました。U19は2日目の午前から予選リーグがあり4名全員が参加し、鈴木、梅木、杉浦の3名が全勝で1位通過、谷本が1敗で2位通過することができました。最終日にU19の決勝トーナメントが行われ初戦は谷本が敗退しましたが、3名が勝利しベスト16進出、8決定では梅木が敗退しましたがベスト8に鈴木と杉浦の2名が残りました。準々決勝ではどちらも世界ランク上位のチャイニーズタイペイ選手に敗れましたがこちらも健闘してくれました。

今回感じたのは、海外の選手のフィジカルの強さです。特にU19は他のカテゴリーと比べて体つきが全く違い、ボールの威力やフットワーク等も日本選手とは差がありました。ラリーになるとどの選手もかなり力を発揮してきます。台上のプレイや戦術面では日本の選手が有利な展開に持っていくことができますが、ラリーになると押し切られるという展開は多く見受けられました。しかし、日本選手もそれぞれ独自の戦術や技術を持っており、対応力は高いと感じました。フィジカルで劣っている部分をカバーできる技術を多く持っていたことで勝ち上がることができたと思います。今回の経験を活かしさらに上を目指してもらいたいです。

最後に、年度当初に予定していた海外遠征が昨年に引き続き中止を余儀なくされていた中で、日本卓球協会のご協力とご助言により参加が可能になり、選手の参加の機会を奪うことなく遠征をおこなうことができたことに対して深く感謝いたします。

女子監督 神谷 卓磨（愛知みずほ大学瑞穂高等学校）

この度は、WTT ユースコンテナー香港大会に参加させていただきありがとうございました。私にとっては、2度目のWTT大会参加となりましたが、大変貴重な経験をさせていただき、私自身の成長に繋がる大会となりました。以下、詳細をまとめさせていただきます。

一点目に、環境の違いを強く感じた。使うボールや試合の進行方法、会場の雰囲気や練習会場の環境など、様々な面で国内大会とは違い、特に大会日程がハードなことが印象的だった。今回はJNT派遣の選手も大会に参加しており、U-17カテゴリーで上位進出を果たした選手は、夜22時頃まで試合を行い、翌日の朝からU-19カテゴリーの予選が始まるという過密スケジュールをこなしていた。更には、直前までアジアユースに参加し、そこから直接今大会に参加している選手もあり、国際大会で勝ち上がるためには、恵まれた環境で試合ができたり、自分のペースで準備ができる国内大会と違い、タフなメンタリティーとコンディショニング能力が必要であるということを感じることができた。どんな状況の中でも力を発揮するためには、日頃から「思い通りにならない」ということに慣れさせることも指導をする上で重要ではないかと考える。

二点目に、海外選手と日本選手の卓球スタイルや球質の違いを感じた。日本選手は、攻めることが好きな選手が多い中、海外の選手はラリーが好きな選手が多く、自分から無理に攻めないスタイルの選手が多い印象を受けた。そして、球質においても、スピードより回転を重視する選手が多いため、ラリーが長く続く傾向にある。そして、その中で勝ち上がることができる日本選手は、対応力を持った選手であると感じた。メディアの卓球動画を見れば、スーパープレーばかりが切り取られ、まるで世界のトップ選手たちは、全てのボールを強打しているように見えるが、実際は落ち着いて一本繋いだり、コースを突いたり、回転をかけたりというボールがほとんどで、強打できると判断したボールのみを正確に狙っている。ナイスプレーをして「自ら取るポイント」の数が多いことは大切なことではあるが、それ以上に「相手に与えてしまうポイント」が少ないということも重要であることを痛感した。日頃の練習から、闇雲に打つのではなく「判断して打つ」ということに意識的に取り組み、対応力を身に付けてほしいと感じた。

今大会参加したジュニア選手たちには、以上二点について強化を図り、今後国際大会で活躍する選手へと成長してもらいたい。

鈴木 柊平（遊学館高等学校：3年）

今回は、WTT ユースコンテnder香港に参加させていただきありがとうございました。

国際大会に出場するのは昨年のタイ WTT ユースコンテnderぶりでした。結果としては前回の WTT よりも2ランクアップのベスト8でした。前回の国際大会と比べて自分が成長した部分が見られました。今回の大会で技術的にも精神的にも多くの課題を見つけることができました。次のインターハイ、国体に向けて1つずつ改善していきたいです。予選リーグの韓国人とは日韓ジュニア交流で3度対戦している選手で1勝2敗と負け越している選手との対戦でした。サーブがとても上手な選手でレシーブの時は2本中1本取るという考えで試合をしていました。1ゲーム目は8-10の相手がサーブを持っている場面で2本とも思い切ったレシーブができて、そこから逆転で取ることができたので、勝ちに繋げることができたのだと思います。1回戦の台湾の選手との試合では1度対戦をしていて0-3で負けている選手でした。1ゲーム目の出だしから攻めをやめずに1ゲーム目を取ることができて4ゲーム目も最後は思い切ったプレーをして勝つことができました。2回戦の韓国人との試合は結果的には0-1の4-7から逆転勝ちをすることができました。フルゲームの中で2回サーブのフォルトを取られてしまいました。焦りが出たと思います。2-2の8-8でフォルトを取られた場面ではすぐに切り替えて3連続ポイントで勝つことができました。我慢のできた試合でした。準々決勝の台湾の選手との試合では台上やバックハンドの質が自分とは全然比べ物にならないくらいに格上で無理して攻めにいきすぎて負けてしまいました。

今回の大会で学んだことを次の大会から意識していきたいです。

谷本 拓海（育英高等学校 2年）

今回は WTT ユースコンテnder香港に参加させていただき、ありがとうございました。今回の大会を通して感じたことは、ラリー力の差です。自分が攻めていい展開になっても繋がれてラリーに持ち込まれ、得点に繋がれることができませんでした。ラリーにさせない早い展開でのプレーや、ラリーになっても打ち負けないフィジカルを今後の練習で改善していきたいと思います。もう一つの課題はセットオールで勝ち切る力です。今回負けた3試合中2試合がセットオールで負けました。実力や技術などにあまり差はなく1から4ゲーム目までの展開を分析して相手の苦手なところや得点率が高い展開を徹底してするなどの戦術の面で負けていたと感じました。母体で技術の改善だけでなく戦術や冷静な判断力を鍛えていかないと世界では勝てないと感じました。

また、大会を通じて課題だけでなく自分の強みも知ることができました。サーブ3球目の展開の得点率がかかなり高かったと思います。特にサーブでの得点がすごく多かったです。今後は自分の課題を克服するだけでなく自分の長所も更に伸ばしていきたいと思います。

今大会で世界のトップレベルの選手と試合をして、世界の厳しさを感じることができました。今後はここを標準にし、練習から意識して取り組んでいきたいと思います。貴重な経験をさしてくださり本当にありがとうございました。この経験を活かし更に成長していけるよう頑張りたいと思います。

梅木 大智（鶴岡東高等学校：3年）

私は今回初めて WTT の試合に参加させて頂き、同世代のトップ選手との対戦や試合を見てとても勉強になりました。

まず自分は予選リーグで3回試合をし、全勝で決勝トーナメントに進むことができました。特に3試合目の台湾人の選手との試合では、自分の得意な「動いてフォアを使って攻めていくプレー」をすることができ、世界ランク上位の選手に勝つことができてとても自信になりました。また、自分が今までコツコツ努力してきた成果が出て、本当に嬉しかったです。2日目は決勝トーナメントを行い、自分は2回戦で日本の坂井選手と試合をし、0-3で負けてベスト16という結果でした。坂井選手は自分と比べてサーブレシーブの質が高く、先に攻められ、自分が攻めたとしても余裕を持って返球されていて、一球一球の質が高いと感じました。また、打点の高いところで連続攻撃をしてきて自分が下がる展開が多かったので、コース取りと、打点の高さも取り入れていこうと思います。

他の海外の選手を見て思ったことは、少し距離をとってしっかり自分の力で打っていると感じました。サーブレシーブは日本人の方がうまいと思うのですが、台湾人や韓国人は動きが速く、一球一球的パワーがあり、攻め切るプレーをしていたので、自分もラリーと安定感や力強さを見習っていきます。

2週間後にはインターハイがあるので、シングルス、ダブルス、団体の全てで表彰台に上られるように頑張りたいです。

杉浦 涼雅（愛知工業大学名電高等学校：2年）

今回の試合はU-17とU-19に試合を出さしていただいてどちらともベスト8という結果を出せました。U-17は準々決勝で台湾の選手と試合をしてラリーでのボールの質、攻め方などたくさん学ぶことができました。U19は相手が強いのもあって向かっていったのですが、後一本というところで相手の勝負強さが出て自分のメンタル面があまり強くないと感じました。特にU-19の台湾の選手は自分が攻めても自分のボールの質以上のボールを返してきて1点取るのがとても大変でした。フォアはスピードが早くミスが少なくとても高い打点で連打されました。バックでもコースのつき方などとてもレベルが高かったです。レベルが高い選手に共通しているのが、チキータが上手いことで、チキータからの展開がとても上手かったです。自分はツッツキからの得点がほとんどなのでレシーブからもっと得点できるようにしたいと思いました。

遠征を通じて感じたことは、海外の大会はとてもみんなフレンドリーでとても試合がしやすかったです。食べ物も海鮮系などが上手く日本とあまり変わらず美味しかったです。香港に着いた初日は香港の食べ物に慣れておらず、すぐにお腹を下してしまいましたが、徐々に慣れてきてパフォーマンスも充実する事ができました。

今回の遠征で色々な経験ができました。この経験を活かしこれからあるさまざまな大会で良い結果を出せるように頑張りたいです。

遊佐 美月（愛知みずほ大学瑞穂高等学校：3年）

WTT ユースコンテナー香港に参加させていただきありがとうございました。私はWTTの試合に出場するのが2回目で、去年のU-19は予選リーグ敗退と、とても悔しい結果に終わってしまいましたが今年はベスト16に入ることができて少し成長を感じられました。

今大会で感じたことは強い人ほど凡ミスが少なく、ボールをしっかり判断していることです。海外の選手は威力もとてもあり押されるイメージですが、無理なボールはしっかりブロックで1本繋げてからラリーに入り、いけるボールをしっかり狙うという、パワードライブは持っていますが、使う場面や場所をしっかりと考えているなと感じました。私は無理なボールでも打ちすぎてしまいそこから相手のペースになってしまう事が今回の試合もとても多かったので次の試合やこれからに向けてその部分をしっかりと修正していきたいと思います。後は、自分は3球目攻撃が得意でチャンスがあればすぐにフォアで狙っていきますが、海外の選手は1本多く繋げてきたり、やりにくいレシーブで返ってきたりと、自分のやりたいことができず、その時の対処がまだ少し遅いなど感じたので誰が相手でも自分のペースで、その時に相手の事を分析し試合ができるようにしたいと思いました。

今回は色々な国の選手と交流することができ、普段はできない経験をたくさんさせていただくことができました。このような貴重な経験をさせてくださった監督、先生方にはとても感謝しています。ありがとうございました。今回の大会で得た反省、経験を活かしてこれからも頑張ります。

伊藤 詩葉（四天王寺高等学校：3年）

WTT ユースコンテナー香港の試合に出させて頂きありがとうございました。

海外の試合には初めて出させてもらったので、緊張はなく思い切って戦うことができ、自分の全力を出すことができました。

海外の選手は、速いボールや威力のあるボールを打つイメージでしたが、速さよりも回転量が多くて打点の早さとコースで崩されて点を取られることが多かったです。

試合をやって感じたことは、ちょっとした工夫をしたり戦術を変えるだけで流れが変わったり、勝敗に関わってくる試合があったので、今回は2セット目から対応することができましたが、これからもっと上を目指すために1セット目から対応して自分で考えてできるようにしたいと思います。自分はフォアで速いボールを打つのが得意で、今回の試合でも自分がフォアで打てた時はほとんど点数になって海外の選手にも通用したので、これからもフォアは自信をもって振っていききたいと思います。自分のフォアで打たれないように相手はバックに狙ってくるので、フォアに繋げるためのバックをもっと強化していきたいと思います。

今回の試合で、いろんなことを学ぶことができたので、この経験を活かしてもっと上を目指して頑張りたいと思います。

吉本 はな（香ヶ丘リベルテ高等学校：2年）

WTT ユースコンテナー香港に参加させていただきありがとうございました。私自身アジアの選手と試合したことがほとんどなくて、アジアの選手はレベルが高くすごく良い経験になりました。

今回の試合で感じたことは2つあります。1つ目は、台上のレベルが高いことです。台から出ない正確なストップや、相手を見て相手のいない方にフリックしたり、ツッツキが切れていたり海外の選手との大きな台上の差を感じました。ラリーの強さも大切ですが、台上はもっと大切だと思うのでこれからの練習に取り入れていきたいと思いました。

2つ目は、全体的に質が高く威力のあるボールが多いと感じたことです。ラリーになると自分のボールだと決まらないし、打たれた時にブロックが上手くできませんでした。これからは、質の高いボールに対して上手く返せるようになる為、日頃から相手がどのポジションでどこを狙ってきているかを予測しながら練習に取り組みたいと思います。

今回の大会では、リードされていても落ち着いてプレーすることができ、成長を感じられました。また、反省点もたくさん見つかったので克服し、レベルアップして次の大会に活かせるように頑張ります。

最後に、貴重な経験をさせてくださった監督、先生方には感謝しています。ありがとうございました。

島村 果怜（横浜隼人高等学校：2年）

今回、WTT ユースコンテナー香港に参加させていただきありがとうございました。自分は、久しぶりの国際大会で、最初は、いつもと違う体育館や試合の雰囲気慣れない部分がありました。しかし、試合を重ねていくうちに慣れてきました。

自分が今回のWTT ユースコンテナーで、いつもよりゆっくり考えて、冷静に試合を進めることが出来ました。海外の選手と試合をさせていただき、海外の選手のボールの回転量や威力の差を改めて感じました。ラリーになった時に威力のあるボールや回転量のあるボールで押されてしまい負けることが多かったと感じました。したがって、これからは威力のあるボール、回転量のあるボールに対して押されないように、自分で打ち返せるような、体づくりや練習を取り組んで行きたいと思いました。

今回のWTT ユースコンテナー香港で、海外の選手と戦って様々なことを学ぶことができました。まだまだ自分には足りないことがたくさんあり、もっとこれからも色々な経験をし、上を目指して行きたいです。

最後に、このような経験ができ、監督や先生方に本当に感謝しています。ありがとうございました。今回の経験を活かし、次からの試合に繋げて行きたいと思いました。